

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 殿

福岡県病虫害防除所長

平成25年度病虫害発生予察速報第4号について

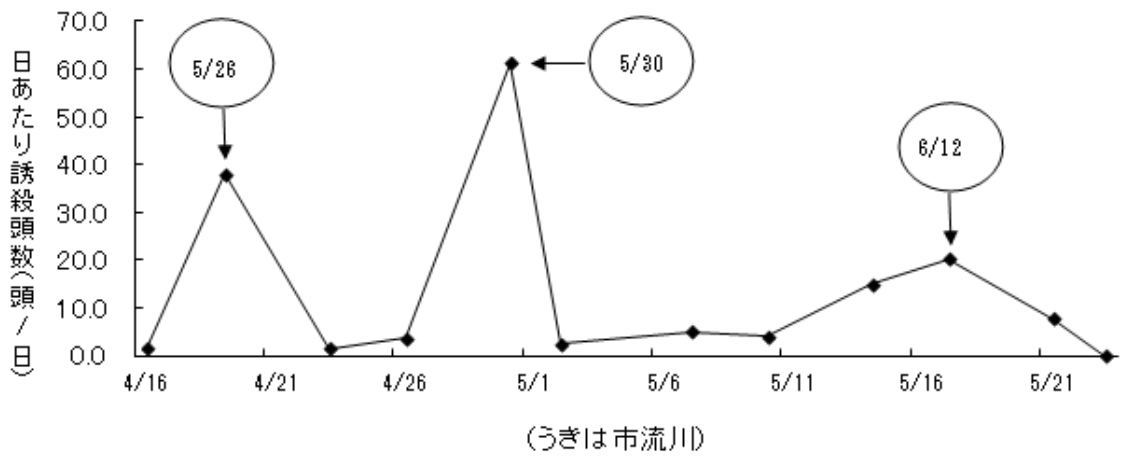
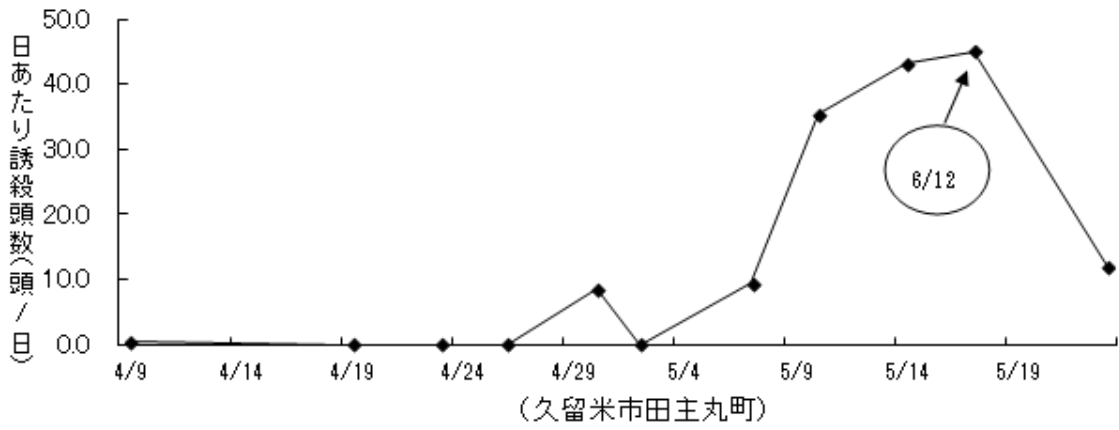
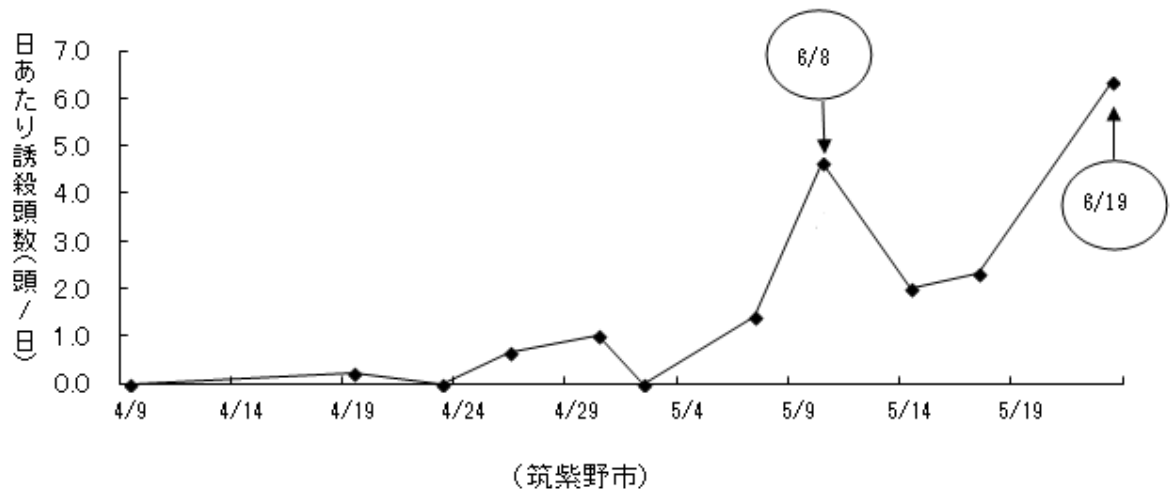
このことについて、病虫害発生予察速報第4号（フジコナカイガラムシ）を発表したので送付します。

今年のフジコナカイガラムシの防除適期である第1世代の幼虫ふ化最盛期は、地域によってばらつきが大きく5月28日～6月19日と予想されるので、適期防除の指導をお願いします。

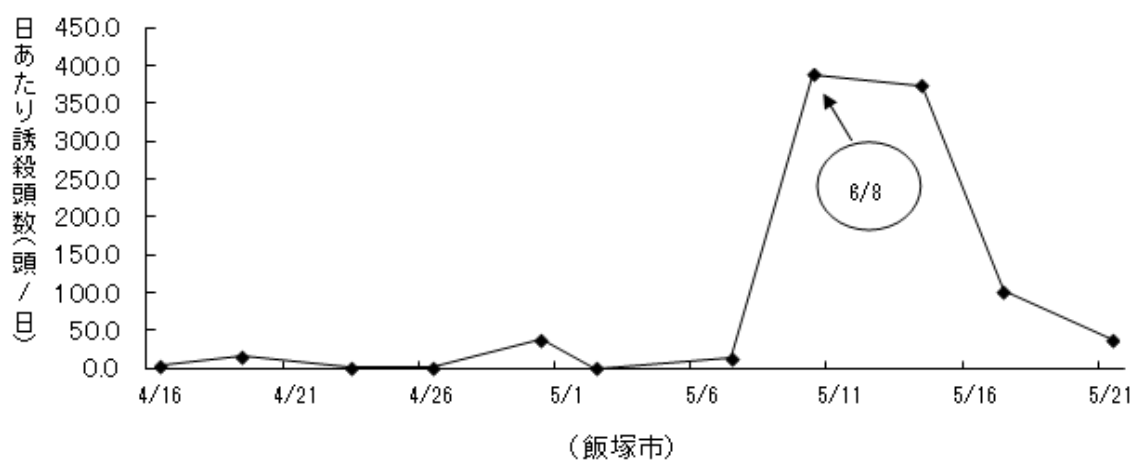
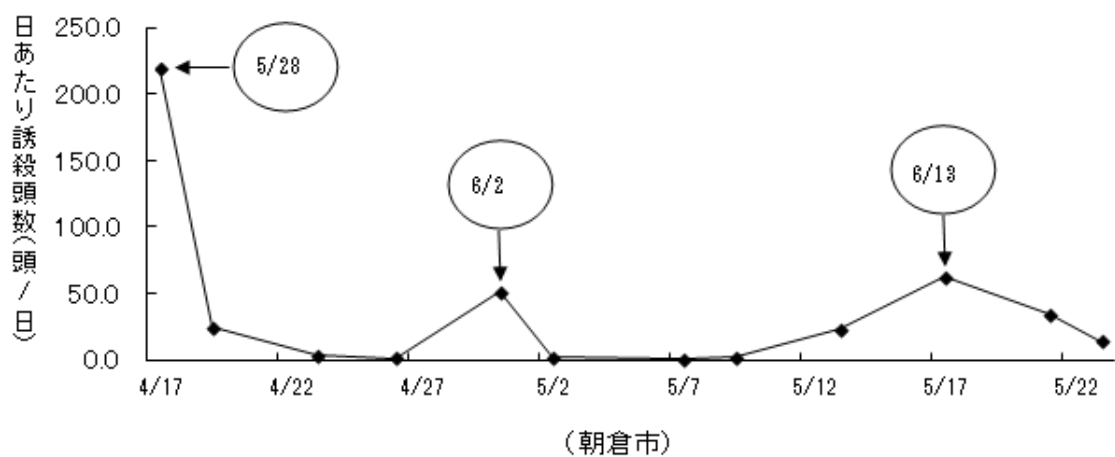
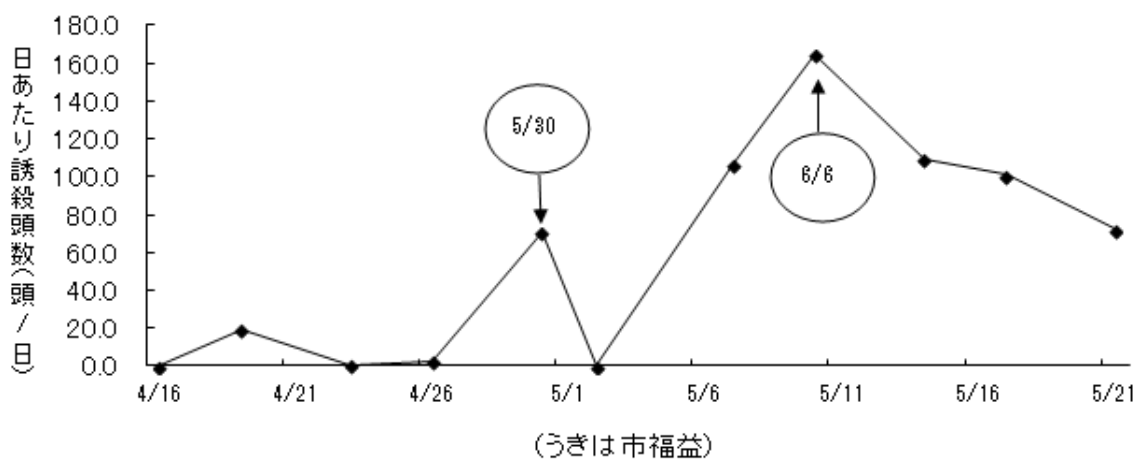
速報第4号

果樹

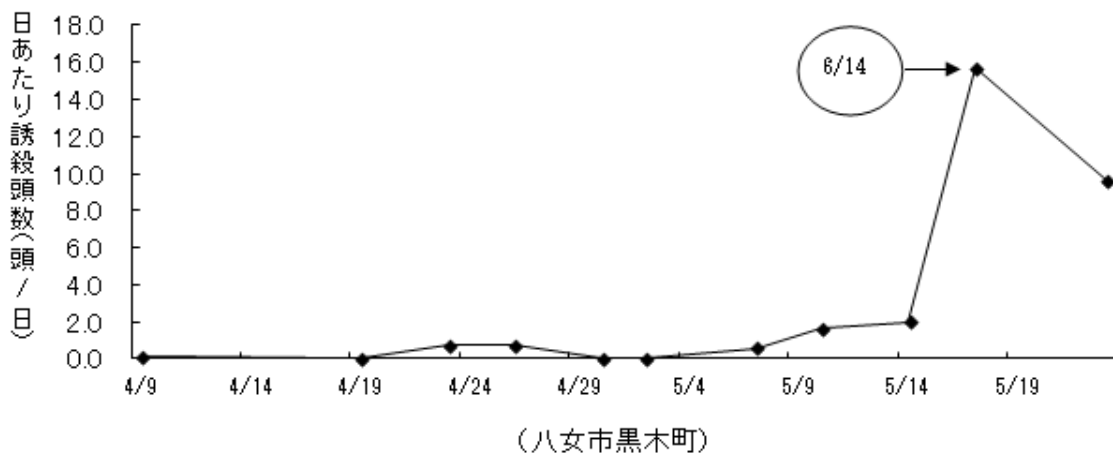
- 1 対象作物：カキ
- 2 病虫害名：フジコナカイガラムシ
- 3 発生地域：県下全域
- 4 第1世代の幼虫ふ化最盛期：5月28日～6月19日
- 5 速報の根拠
県下7地点の性フェロモントラップを用いたフジコナカイガラムシの雄成虫の誘殺ピークは、4月17日～5月23日と地域によってばらついていた。また、各調査地点とも、雄成虫の誘殺される期間が長い傾向があった。
実測値の平均気温と年平均気温（実測値：5月26日まで、平年の平均気温：5月27日以降）を基に、県下7か所の1齢幼虫ふ化最盛期を予測したところ、5月28日～6月19日であった（第1-1図～第1-3図）。
- 6 防除上の注意等
 - (1) 地域や園地により、第1世代の幼虫ふ化ピークが異なっており、幼虫ふ化期間も長いので、各地に設置されているフェロモントラップでの越冬世代雄成虫の誘殺状況を参考に、適期防除に努める。
 - (2) フジコナカイガラムシはヘタの隙間などに潜むため、薬剤は高圧で吹き付け、かけむらがないよう十分な薬量を丁寧に散布する。
 - (3) スピードスプレーヤが旋回する園の端などは死角となりやすいので、噴霧機などを用いて補正散布を行う。
 - (4) 防除に当たっては、農薬使用基準（使用時期、使用回数等）を遵守し、周辺圃場への飛散防止対策を講ずる。



第 1-1 図 県下 7 か所のフェロモントラップによる越冬世代雄成虫の誘殺状況



第1-2図 県下7か所のフェロモントラップによる越冬世代雄成虫の誘殺状況



第 1-3 図 県下 7 か所のフェロモントラップによる越冬世代雄成虫の誘殺状況

- 1) 次世代幼虫ふ化予測は、J P P N e t の有効積算温度計算シミュレーションにより算出した。
 パラメータとしてアメダスデータ（筑紫野市：太宰府アメダス、久留米市・うきは市：久留米アメダス、
 朝倉市：朝倉アメダス、飯塚市：飯塚アメダス、八女市：黒木アメダス）を利用。
- 2) ○の中の月日は、矢印先のデータの誘殺日から予測した 1 齢幼虫ふ化時期を示す。